

アテ情報

1月1日(元旦)の初日の出、粟ヶ岳山頂で地元の人達によるイベントやっています!縁起物という事で、当日採んだ手揉みのお茶を配布します。

富士東通信

第8号

2008年11月28日

発行所
富士東製茶農業協同組合
編集 松浦 永治

青年部 在来茶情報

加久良の出来栄は?

年目を向かえた
在来プロジェクト、ある程度の収穫があり、名前が決まり、パッケージが決まり、販売までこぎつける事が出来ました。そして、なんと今年の世界緑茶コンテストで金賞を受賞。まさか、在来種のお茶で金賞を貰う事ができるなんて・・・最初は、コンテストの応募用紙を見て、何でもいから賞を貰えたら、自分達の張り合いになるし、自信に繋がるね。」

下の写真が受賞商品で、「深蒸し煎茶・微発酵煎茶・紅茶」の三点セット。もちろん、全部が在来茶園から収穫した葉で作ったものになります。そして中に、在来茶園の写真を添えて、蓋を開けると・・・そこには、霧に包まれた茶畑が現れる仕組み。目を閉じると、在来茶園の、又そこでお茶を摘んでいる僕達の姿が浮かんでくれたらなという想いで作りました。まあとにかく、今回の受賞がどれだけ青年部のみんなの自信に繋がった事か。そして何より、協力する事の大切さ、団結力のUPになりました。まだまだ青年部、沢山のイベントがあるので、驕ることなく精一杯努力していきます。

加久良、在来三昧、
1100円
好評発売中



世界緑茶コンテスト2008
最高金賞
金賞
ダブル
受賞

最高金賞を受賞した【プレミアムティーバッグ】

売部のラインナップにある、【プレミアムティーバッグ】が10月に行なわれた世界緑茶コンテストで見事最高金賞をいただきました。それは、プレミアムティーバッグの説明を・・・する前に、簡単にこのコンテストについて説明したいと思えます。大きいテーマは、「明日の銘茶」を募集という事で、お茶の品質のみならず、創造性、コンセプトの明確性、機能性などお茶の商品性を競うコンテストです。なので審査対象は、コンセプト・名称・コストパフォーマンス・名刺・パッケージ、そして品質になります。そのようなわけで、品質だけの品評会しか知らない自分達にとって、商品を審査するコンテストで賞を頂けたのは、とても価値あるものとなりました。ましてや最高金賞なんて、ビックリ。プレミアムティーバッグのコンセプトは、お茶の購買層は女性が多いため、インテリアとしても楽しい、女性の方に可愛い、格好いいと思って頂けるもの。いいお茶を手軽に、カップとお湯があれば呑めるように。写真左の緑とピンクの物が、茶缶になっていて、右のチャック付きの物が、詰め替え用になります。



金賞を受賞した【加久良(かくら)在来三昧】



東山の風景や青年部の在来復活プロジェクト、今までの喫茶ふじどうの様子などを写真展示してPR活動してきました

- ・掛川市農業祭
- ・静岡県茶業研究センター100周年記念
- ・掛川市立中央小学校での授業
- ・ラジオFM-Hi!出演
- ・県立美術館でのお茶会開催

行く先々で、消費者の皆さんの話が聞けて、とても勉強になり、そして自信に繋がったPR活動となりました。これからも、パンパン動いていくので、見かけた際は宜しくお願いします。

今年の秋は、写真の展示やお茶の販売、そして小学校での「お茶を楽しんじゃおう」の授業など、青年部で色々な所へ行ってPR活動をしてきました。

組合員紹介

私は富士東製茶の組合員
松浦初雄(まつうらはつお)です。

携帯はこちら

青年部ブログ
http://zairai.cha.hamazo.tv/
ホームページ
http://awantake.com/default.aspx

たばっか(笑)なので、また次号で紹介したいと思えます。お楽しみに。

編集後記

お久しぶりで、やっとこの8号完成となりました。わたくしも青年部員という事で、なかなかやる事が多く、7号に続き遅れての発行となつちやいました。ごめんなさい。多分これからは、変則的な発行に・・・。そうゆうわけで今号は、世界緑茶コンテストの記事をメインで書かせていただきました。ちよっとしつこいですが、嬉しかったという事で、許して下さい。あと「知っ茶おう!」のコーナーなんですけど、ちよっと載せたい事が沢山になりました。お休みとさせてもらいました(次号では復活します)。それと年末に青年部でもう一つイベントを用意しています(今聞いたらばっか(笑)なので、また次号で紹介したいと思えます。お楽しみに。